

## 事業者ヒアリングの結果について

### 1 目的

現状（取り組み事例など）を把握する。

今後「協働」を進めていくでの課題や要望を把握し、計画の基礎資料とする

### 2 実施概要

(1) 期間 令和 4 年 12 月から令和 5 年 1 月まで

(2) 対象 6 団体（企業 3、社会福祉法人 1、商店会 1、商業会 1）

（団体内訳）

企 業	不動産管理業	商業施設（31 店舗）テナント管理
	小売業	全国 327 店舗を展開し、市内に店舗あり
	サービス業	市内本社 従業員約 200 名
	社会福祉法人	市内に老人福祉施設、総合福祉施設あり
	商店会	約 40 店舗が加入
	商業会	4 商店会約 90 店舗が加入

(3) 方法 市内南部・中部・北部において、日頃から地域と関わりのある事業者に  
訪問し、1 時間程度のヒアリングを行った

### 3 ヒアリング結果（主な意見等のまとめ）

#### ■地域との関わり方について

○コミュニティ協議会と共催し、認知症カフェを開催

○地域の写真展を開催

- コミュニティ協議会主催の行事（夏まつり、運動会、文化祭など）への協力  
飲み物やうちわ、景品、カレンダーなどを提供、看護師の派遣、送迎バス運行、出店の調整、ポスターの掲示など
- コミュニティ協議会の運営委員会等へ出席し情報を共有している
- 源氏まつりやトラ市への協力
- 商店会主催のよるコンサートを開催
- 地域のこどもたちの絵を各店舗に掲示し、来店したこどもたちにお菓子をプレゼントしている
- お出かけ支援（高齢者の買い物支援）事業を実施

■地域との関わり方の考え方などについて

- 大切に重要だと考えている
- 地域貢献させてもらいたい、役に立ちたい
- こどもたちを地域でみていきたい
- 日頃からのおつきあいを引き継ぐ、地域あつての店舗である

○つながり、おたがいさま（コンサート開催時に他の地域から応援をもらっている、他の地域で困っていたら手伝いに行く）

○コミュニティとは、一緒に動いているイメージ。以前よりそんな流れが出来ており、意識せず、自然とやってきている。これからも変わらずやっていく。

○商業施設のあり方として、単なる買い物する場所ではない。地域の人と一緒にやっていく、そうでないと人は集まらない

■事業者に関わってもらうには

- 何かある時だけでなく、定期的に声をかけていったらよいのではないか
- 気兼ねなく、気軽に声をかけたらいいのではないか
- ライン登録などで地域の情報を共有してもらうのはどうか

■その他

○地域に住んでいる市民や職員が市の良さを知らない。もったいない、残念である。宝物がいっぱい落ちている。行政は、もっとPRするべき。

○社の方針として、地域密着の会社であるため、社内でのいろんな許可は下りやすい。

○ビラやポスターなどの掲示は行政からの依頼のみ対応させてもらっている（社の方針）

○自治会からの関わりから、地域にフィードバックができると思い、商工会の役職を引き受けた

